

どなたでもお気軽に、いつからでもご参加いただける活動を紹介します♪
一緒に参加してみませんか？

あいさつ運動

みんなでサンカ

毎月第3火曜

町内各小学校 7:40～8:00
町内各保育所 8:20～8:50
玉城中学校 7:50～8:10
田丸駅前 7:40～8:00

月に一度、子どもたちと元気なあ
いさつを交わすことで、たくさんの
元気がもらえる活動です。
ご参加いただける方は「あいさつ人^{びと}」
の登録をお願いします。



イベントボランティア

地域のために活動したい…、何をすればいいのだろう…、でも団
体に所属するのは少し荷が重い…、というあなたにぴったりなのが、
「イベントボランティア」です。

町内にはさまざまな地域貢献活動があります。ご登録いただいた方
に、活動を随時案内しますので都合があったとき、気分が乗ったとき
の参加でOK! まずは登録からはじめてみませんか? 登録無料です。



元気ですたまき委員募集!

元気ですたまき委員会では、この計画に基づいて、玉城
町をよりよくするにはどうするか、月に一度集まって話し
合っています。

気になったあなた! ぜひ委員になってみませんか? 詳し
くは下記までお問い合わせください。



玉城町の「ふくしのまちづくり」を目指して!

玉城町社会福祉協議会では、「ふ」だんの、「く」らしの、「し」あわせを実現する「ふくしの
まちづくり」をすすめています。その中心は、玉城町に住む一人ひとりの町民です。玉城町には、
制度のはざままで様々な悩みや苦しみを抱えている方がいます。そういった方を見過ごさず、み
んなで助け合っていく地域づくりが、厚生労働省が提唱する「地域共生社会」です。『地域ふく
し力向上計画』は、玉城町に住むすべての方の「ふくしのまちづくり」を実現するための行動
計画です。多くの方にご協力とご参加をいただき、玉城町へ定着することを願っています。

玉城町社会福祉協議会アドバイザー 田村禎章 (ユマニテク短期大学)

▼「あいさつ人^{びと}」と「イベントボランティア」の登録は下記まで▼

発行元 **元気ですたまき委員会** (玉城町社会福祉協議会)
玉城町勝田 4876-1 玉城町保健福祉会館内
連絡先 ☎0596-58-6915
メール tamasya@amigo2.ne.jp ホームページ <http://tamasya.or.jp>



R2.3.6.000

第3期 玉城町 令和2年度～令和6年度 地域ふくし力向上計画



「元気です! たまき!」と笑顔で語り続けられるまちづくりをめざして

玉城町地域ふくし力向上計画とは

玉城町をよりよくするための具体的な行動計画です!

この計画は玉城町社会福祉協議会に設置する「元気ですたまき委員会」にて、玉城町に住
む町民の方の意見をもとに協議され、平成 24 年に第1期計画が策定され、さらに第2期計
画を経て、このたび第3期目を迎えます。

玉城町をよりよい地域にするため、できることから一緒に活動していきませんか?



元気ですたまきまつり



地域福祉座談会

元気ですたまき委員会とは

玉城町社会福祉協議会では、誰もが安心して、幸せに暮らせるまちづくりを目指し、地域
福祉活動を推進しています。その中で、地域の課題解決にむけて検討し、活動していこうと、
ボランティアや各種団体、企業などの方々から結成
し立ち上げたのが「元気ですたまき委員会」です。
平成 20 年の発足以来、「あいさつ運動」「地域福祉
座談会」「元気ですたまきまつり」などの企画運営等、
さまざまな取り組みをおこなう中で「たまき人^{びと}」を募
り地域力、福祉力が強くなる社会をめざしています。



たまき人^{びと}とは

玉城町に在住、在勤者で玉城町への町民意識(玉城町を思う気持ち)を
持つすべての人を指します。このマークには、玉城を象徴する桜を人に見
立て、一つのリボンでつながることをイメージしています。右記のシンボ
ルマークは玉城中学校美術部の協力を得て作られました。



元気ですたまき委員会(玉城町社会福祉協議会)

第3期 玉城町地域ふくし力向上計画

令和2年度
～令和6年度

| 目 標 | 推進項目 | 実施計画 | 実施している活動 ◎主催 ○共催 | 年 次 | | | | | |
|--|---|--|--|--|-------------------------------------|--|---|-------------------------------------|--|
| | | | | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年(具体的な到達目標) | |
| 地域のコミュニケーションアップ 「だれもがつながり支える玉城町をめざしましょう」 | ①あいつで笑顔広がる玉城町 | 子どもから大人まで、誰もが元氣よくあいつが行える取り組みを行う。 | ◎あいつ運動 毎月第3火曜日 あいつ強化デー | あいつ強化デーの継続実施 活動の拡充検討 ・あいつ人登録の周知 ・場所の拡充検討 | | 活動の拡充評価・検討 ・あいつ人(目標値:新規5名) ・場所の拡充(目標値:新規1か所) | 活動の見直し | 評 価 あいつ人、場所を増加し、コミュニケーション力の向上を図る | |
| | ②支え合い、つながり合える玉城町 | たまき人の啓発を積極的に行うとともに、たまき人同士のつながりを深め地域力の向上を図る。 | ◎たまき人の啓発 (元氣ですたまきまつり、桜まつり、商工会夏祭り、町民体育祭、などのイベントでの啓発) | たまき人の啓発の継続 | たまき人の周知方法見直し たまき人がつながり合える交流の場の検討 | | | 活動の見直し | 評 価 たまき人の認知度が高まり、地域を思う気持ちを育むことができる |
| | | 各種団体と連携し、地域での活動がより効果的に行えるようにする。 | ○ふれあいウォーキング (健康しあわせ委員会) ○RUN 伴(認知症啓発)への参加 | 各種団体と協力し合い、玉城町の地域ふくし力向上をめざす | 継続実施 | | | | 評 価 効率的な地域福祉活動・協力体制の構築を図る |
| | | 高齢者や障がい者の方が孤立せず、また閉じこもることなく、地域でつながり合える。 | ◎楽笑会 (小学校区別におこなう世代間交流) ○たまリンピック (障がいの有無を問わず、スポーツを通じて交流) ○ライブスペース勢の! in たまき (全ての人を対象とし、音楽を楽しむ交流) | (1) 学校や民生委員、各種団体と連携し、世代を超えて交流できる場をつくる (2) 障がいの有無を問わず、つながり合える場をつくる | 継続実施 | 内容・周知方法の見直し | 目標値: 前年度より、参加者・参加事業所の増加 | 見直し | 評 価 独居になっても孤立することなく、つながり合い顔の見える地域にする 評 価 障がいの有無を問わず、誰もがつながり支え合える地域にする |
| | | 出会いが少ない方へ働きかけ、交流しつながりができる活動を行う。 | ◎婚活事業 ◎友活事業 | 必要に応じて婚活、友活事業を計画し実施する | 実施の検討・見直し | 見直し | | | 評 価 出会いのきっかけづくりができる |
| ふくし共育のびるまち 「支え合う気持ちを育てていきたいと思います」 | ①学び合い、共育し合う玉城町 | ふくし共育活動を計画、実施し、継続的に行うことで、子どもから大人まで、ふくしの心を育ていく。 | ◎たまき人大集合 (たまき人の交流の場・玉城町いいところツアー) ◎地域福祉座談会 (中学生と地域住民との対話の場) | (1) 地域に対する意識の向上を目的にたまき人の交流の場を検討 | | 活動の振り返り・検討・見直し | 評 価 世代間が交流する場をつくり、ふくしの心を育む | | |
| | | | ◎イベントボランティアの周知 (何か活動してみたいけど、一歩踏み出せていない人への地域貢献活動の情報提供) | (2) 世代の枠を超えて地域の課題などに気づき考え、その解決に向けて考える場を設ける | 継続実施 見直し 内容の検討 | | | 評 価 地域の課題を自分ごとと捉えることができる人の増加をめざす | |
| | | | | (3) 福祉協力員の役割を見直し、学び合える仕組みや事業の検討 | 民生委員との協力体制の検討・見直し、調整を行う | | 福祉協力員の役割の確立 | 評 価 字区単位での見守り力の向上を図る | |
| | ②気づきから、行動できる玉城町 | たまき人へ地域貢献活動を発信し、活動へのきっかけづくりを行う。 | ◎イベントボランティアの周知 (何か活動してみたいけど、一歩踏み出せていない人への地域貢献活動の情報提供) | イベントボランティアの周知・募集 | | 活動者同士が意見交換できる場の検討 | 見直し | 評 価 地域貢献活動者の増加を図る | |
| | 地域の困りごとを、地域住民が気づき、自分ごととして捉え、その解決に向けて行動できるようになる。 | ◎元氣ですたまき委員の小学校区担当制(準備中) | 小学校区担当制の検討 協力体制の構築 | | 活動の見直し・課題整理 | | 評 価 困りごとは小学校区別で力を合わせ、解決することができるようにする | | |